（日本産業規格Ａ列４番）

様式第２号の19（第８関係）

炉、温風暖房機、ヒートポンプ冷暖房機、ボイラー、乾燥設備、給湯湯沸設備概要表

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　目 | 良 | 否 |
| 設置種別 | 1. 炉（１㎡以上）　　　［□炉（炭おこし用炉）、□工業用、　□その他］
2. ボイラー　　 □温水　［□暖房用、□給湯用、□工業用、□その他］

条例５７条該　　　当□蒸気　［□暖房用、□工業用、□その他］□貫流□壁付暖炉□温風暖房機□ヒートポンプ冷暖房機□乾燥設備　［□危険物乾燥、□その他］□給湯湯沸設備 |  |  |
| 工事種別 |  □新　設、□増　設、□全部改設、□一部改設、□移　設、□改　修□増 改 設、□ そ の 他 |  |  |
| 設置場所 | □　　　　階　・□屋上　・□屋外 |  |  |
| 設置室 | 区　画構造等 | 不燃区画［ □区画有り、□区画無し、□その他］開口部［□防火戸、□特定防火設備である防火戸］室面積　　　　　㎡ |  |  |
| 内　　装 | 下地［□特定不燃、□その他（　　）］、仕上げ［□特定不燃、□その他（　　）］ |  |  |
| 設置概要 | 機器型式（　　　　）大きさ（奥行　　　ｍ×幅　　　ｍ（据付け面積　　　　㎡×高さ　　　　ｍ） |  |  |
| 熱源種別 | 1. 液　体［□灯　　油、　□重　　油、　□その他の液体］
2. 気　体［□都市ガス、　□ＬＰガス、　□その他の気体］
3. 固　体［□ま　　き、　□石　　炭、　□その他の固体］

□電　気□その他（蒸気含む） |  |  |
| 入力 | 　　　　　　　　㎾ |  |  |
| 安全装置 | 対震装置［□無、　□有］型式番号（　　　　　　）、設置位置［□本体、□室内］、製作社名（　　　　　） |  |  |
| □立ち消え安全装置、　　　□空だき防止装置、　　　　　□自動温度調節装置、1. 過熱防止装置、　　　 □停電時安全装置、　　　 　□自動ガス遮断装置

□その他（　　　　　　　　　　） |  |  |
| 燃料配管 | 材質［□鋼管、□銅管、□その他］、配管方法［□露出、□埋設、□隠ぺい］ |  |  |
| 燃料タンク | 容量（　　　　Ｌ）、材質［□鋼板、□その他（　　　　）］、板厚　　　　㎜固定方法［□ボルト固定、□溶接、□その他］、炉からの水平距離　　　　　ｍ　　　　　 |  |  |
| 煙突排気筒等 | 排気温度［□260℃超、□100℃超260℃以下、□100℃以下］、逆風防止装置［□無、　□有］、排気トップ形状［□多翼型、　□Ｈ型］、貫通部構造［遮熱材料、［□無、　□有］、□その他（　　　　）］ |  |  |
| 燃焼空気取入口等 | 給気口面積（　　　　㎠）、給気口位置（床面から　　　　㎝）、給気ファン（給気量　　　　㎥／h）、給気ファン位置（床面から　　　　㎝） |  |  |
| 耐震措置 | 設計用標準震度［耐震クラス□Ｓ・□Ａ・□Ｂ］　アンカーボルト　　　φ×　　　本 |  |  |
| 消火設備 | □消火器、□大型消火器、□スプリンクラー設備、□水噴霧消火設備、□泡消火設備、□ハロン、□粉末消火設備、□ＩＧ－55消火設備、□ＩＧ－541消火設備、□窒素消火設備□ＨＦＣ－227ea消火設備、□ＨＦＣ－23消火設備、□その他（　　　） |  |  |
| 警報設備 | 1. 自動火災報知設備、□非常ベル、□放送設備、□ガス漏れ警報設備、
2. その他（　　　　　　　）
 |  |  |
| その他 |  |

備考１　項目中、□欄 は該当するものに✓印を付し、下線部分には該当する内容を記入すること。

２　良否欄は、記入しないこと。